

大観峰展望所

阿蘇カルデラの北縁にある大観峰展望所からは、しばしば最高のカルデラの眺めとされる景色が望めます。大観峰は文字通り「景色が一望できる山頂」を意味します。1922年に著名なジャーナリスト兼歴史家の徳富蘇峰によって命名されました。

この見晴らしの良い地点からは、中央山群、地元の人々が何世代にも渡って耕してきた農地、そしてカルデラの反対側の壁を見ることができます。かなたに見える阿蘇五岳は、横になっている仏陀の姿に似ていると言われています。

秋には、逆転層と呼ばれる現象によって、カルデラは雲の「海」で満たされ、銀色のススキが山腹を覆います。冬には山々は雪に包まれ、春には草原の野焼きが圧巻です。夏は、野焼きのあとの草原が再びさまざまな色合いの緑に茂ります。